

講義概要

アナウンス科

授業科目一覧 アナウンス科

● 1年次

● 2年次

	授業科目名	修得単位時間	必修・選択	実務経験のある 教員等授業	省令基準時数分 シラバス提出授業		授業科目名	修得単位時間	必修・選択	実務経験のある 教員等授業	省令基準時数分 シラバス提出授業
実習・演習科目	ラジオパーソナリティⅠ	36	必	○		実習・演習科目	取材・インタビュー実習	36	必	○	◆
	ラジオパーソナリティⅡ	36	必	○			フリーアナウンサー実習	36	必	○	
	アナウンサー・リポーターⅠ	36	必	○	◆		ラジオパーソナリティⅢ	36	必	○	
	アナウンサー・リポーターⅡ	36	必	○			ラジオパーソナリティⅣ	36	必	○	
	ナレーションⅠ	36	必	○			読み語りⅠ	36	必	○	
	ナレーションⅡ	36	必	○			読み語りⅡ	36	必	○	
	イベントMC	36	必	○			ヴォイスサンプル制作Ⅰ	36	必		
	番組制作	36	必				卒業制作	72	必		
	フリートークⅠ	36	必	○			フリートークⅡ	36	必	○	
	センスアップ	36	選	○			ヴォイスサンプル制作Ⅱ	36	選		
体幹をつくる美姿勢メソッド	36	選	○		スタジオナレーション実習	36	選	○			
						CM実習	36	選	○		
						ビジネスマナー	36	選	○		
	小計	396					小計	504			
専門科目	アナウンス基礎Ⅰ	54	必	○	◆	専門科目	アナウンス応用Ⅰ	36	必	○	◆
	アナウンス基礎Ⅱ	54	必	○			アナウンス応用Ⅱ	36	必	○	
	放送業界講座Ⅰ	54	必				放送業界講座Ⅱ	54	必		
	就職・オーディション講座Ⅰ	36	必				就職・オーディション講座Ⅱ	36	必		
	ヴォイストレーニングⅠ	36	必	○			就職・オーディション講座Ⅲ	36	必		
	ヴォイストレーニングⅡ	36	必	○							
	感情解放	36	必	○							
	小計	306					小計	198			
特別科目	学園行事Ⅰ	72	必			特別科目	学園行事Ⅱ	72	必		
	芸術鑑賞Ⅰ	36	必				芸術鑑賞Ⅱ	36	必		
	アナウンス発表Ⅰ	36	必				アナウンス発表Ⅱ	36	必		
	小計	144					小計	144			
一般選択科目	落語	36	選	○		一般選択科目	セルフプロモーション	36	選	○	
	講談	36	選	○			フォトポートレート	36	選	○	
	教養基礎講座	36	選				オーディション実習	36	選	○	
	アクターズレッスン	36	選	○			就職対策演習	36	選		
	小計	144					小計	144			

1年次時間数 合計 990 時間	2年次時間数 合計 990 時間
------------------	------------------

全設置授業時数	1980	時間
実務経験のある教員等による授業数	1224	時間
省令で定める基準授業時数 シラバス提出分	162	時間

科目名	ラジオパーソナリティー I								
担当教員	森 雄一								
講師紹介	ラジオパーソナリティー／サンディ所属。日本政府観光局勤務を経てラジオ業界へ。エフエム大分、ふくしまFM、FM FUJIにて朝番組を担当・吹奏楽番組「BRAVO BRASS」(インターネットラジオO T T A V A)、2002FIFAワールドカップ大分大会場内MC、仮面ライダーメテオ(ベルト武器ボイス)、ヴィクトリア系列店内放送など。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<p>学生が自分に自信を持てるようにする。</p> <p>学生が自らの気持ちを言葉にできるようにする。</p> <p>5分番組を制作する。</p>								
授業概要	<p>ラジオ、司会、レポート、ナレーションなど、状況によってしゃべり方は変わるものです。自分に自信を持つことによって、言葉に説得力が加わります。前半はしゃべることに慣れるよう、2～3人のグループトークを中心にやっていきます。後半はソロトークを中心に、様々なケースを設定して挑んでもらいます。学生の皆さんにはスマートフォン等で自身のトークを録音して聞き直してもらい、反省し修正点などを見つけてもらいます。また、ラジオ番組作りにも取り組んでもらいます。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、学生自己紹介 2. 二人一組で得意分野のトークバトル① 3. 二人一組で得意分野のトークバトル② 4. 三人一組のグループトーク 5. レポート① 6. レポート② 7. フリートーク① 8. フリートーク② 9. 曲紹介① 10. 曲紹介② 11. オープニングトーク 12. フリートーク① 13. フリートーク② 14. 番組制作および発表① 15. 番組制作および発表② 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)／成果発表／課題・レポート								
テキスト・参考書等	自作資料を適宜配布します。								
備考									

科目名	ラジオパーソナリティーⅡ									
担当教員	森 雄一									
講師紹介	ラジオパーソナリティー／サンディ所属。日本政府観光局勤務を経てラジオ業界へ。エフエム大分、ふくしまFM、FM FUJIにて朝番組を担当・吹奏楽番組「BRAVO BRASS」(インターネットラジオOTTAVA)、2002FIFAワールドカップ大分大会場内MC、仮面ライダーメテオ(ベルト武器ボイス)、ヴィクトリア系列店内放送									
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期	
到達目標	<p>学生が広い範囲の知識を持てるよう、それぞれアンテナを高くする。</p> <p>学生は主張する際、リスナー(受け手)を想像するようにする。</p> <p>チームで番組作りをする。</p>									
授業概要	<p>前期で学んだ2～3人でのトーク、ソロトークをさらに進歩させるよう実技を中心に行います。ラジオやイベント、スポーツ会場といった状況別の実技も交え、目の前の様子を伝え、聞こえてくる音、鼻を刺激する香り、肌への触感など、五感に受けるものを「言葉」にすることで、表現力を高めるよう、クラス内の実技をよく聞き、実生活でのテレビ・ラジオ視聴、読書、インターネットなどメディア等からの情報収集時に、「流す」のではなく「吸収」するクセをつけてもらいます。</p>									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、学生自己紹介 2. ラジオ(フリートーク)① 3. ラジオ(フリートーク)② 4. ラジオ(フリートーク)③ 5. ラジオ(フリートーク)④ 6. スポーツ(フリートーク) 7. スポーツ(レポート) 8. 映画① 9. 映画② 10. サブカルチャー(フリートーク)① 11. サブカルチャー(フリートーク)② 12. ナレーション・CM 13. イベントMC 14. チームでの番組制作および発表 15. ソロでの番組制作および発表 									
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)・成果発表・課題・レポート									
テキスト・参考書等	それぞれのクラスで必要な資料等は毎回配布します									
備考	前期同様、自分の声を録音できる準備をして下さい。									

科目名	アナウンサー・リポーター I								
担当教員	服部 恭子								
講師紹介	フリーアナウンサー・リポーター／地元のCBCテレビ「土曜9じ半只今参上」でデビュー。名古屋テレビ・FM愛知等週6本のレギュラーを担当。担当教員はフリーアナウンサー・リポーターとして数々の報道番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	基礎である発声・発音・滑舌・アクセントをしっかりと身に付け、本来の本人の声を引き出すと同時にそれをプロの声に磨いていく。プロとしての心得、ジャーナリストとしての自覚を持たせる。								
授業概要	大切な情報を伝える(事件・事故・災害など)ことは人の命に関わることです。それを全国どの地域の人にも正しく伝えるためには正しい発音・発声が不可欠です。さらに長時間声を出し続けても声が枯れたり喉が痛くなることが起きないように、腹式発声をしっかりと身に付けておく必要があります。前半の授業ではこれらの基礎的要素をしっかりと身に付け、プロとしての発声発音を目指し、後半の授業ではプロとしてのテクニックやプロとしての分析力・客観性を身に付けて、より分かりやすい伝え方をマスターします。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / 自己紹介 2. 基礎①発声…腹式を身体で覚える 3. 基礎①発声…口のあけ方 4. 基礎②発音…50音・鼻濁音・無声音 5. 基礎②発音…撥音・拗音・長音 6. 基礎②発音…アクセント・イントネーション 7. 応用…文章読み 8. アナウンサー・リポーター概論・心得 9. ニュース原稿の読み方・伝え方・背景のとらえ方 10. カメラ前でのニュース原稿読み 11. 天気予報の読み方・伝え方 12. カメラ前での天気予報原稿読み・動きの解説 13. オーディション用 自己紹介の基本・ポイント 14. カメラ前での実技テスト① 15. カメラ前での実技テスト② 								
評価方法	平常点・成果発表・試験・課題レポート								
テキスト・参考書等	授業内配布の原稿、アクセント辞典								
備考	前半の授業は動きやすい服装が好ましい(着替え持参など)								

科目名	アナウンサー・リポーターⅡ								
担当教員	服部 恭子								
講師紹介	フリーアナウンサー・リポーター／地元のCBCテレビ「土曜9じ半只今参上」でデビュー。名古屋テレビ・FM愛知等週6本のレギュラーを担当。担当教員はフリーアナウンサー・リポーターとして数々の報道番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	前期で体得した腹式呼吸と口の中の筋肉を駆使して明瞭な話し方ができるようになる。 原稿読みだけでなく、自分で取材してレポートできる様、原稿の構成力も身に付ける。								
授業概要	前期のおさらいとして、夏休み中の体験レポートを発表し、それぞれの課題をチェックしていきます。 よりプロとしての自覚を持たせるため、日ごろの生活態度も厳しくチェックしていきます。マスメディアの世界で生きていくための心得と、プロとしての分析力、バランス感覚の育成にも重きをおき、何を伝えたいのか、何を伝えるべきなのかを明確に判断できる力とブレない信念を身につけられるよう、常にニュースに関心を持たせる よう、授業の中で取り上げていきます。人の心に届くレポートができるジャーナリストを目指します。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 夏休みのレポート発表 2. 敬語・クッション言葉の使い方 3. 人の心を掴むフリートーク 4. 人に共感を呼ぶ原稿の作り方 5. 天気予報の読み取り方、伝え方 6. カメラ前 天気予報実技 7. 立ちレポート(事件・事故現場の基本) 8. 立ちレポート(実践) 9. CM原稿の読み方 10. CM原稿の読み方(実践) 11. ニュース+フリートーク(掛け合い)① 12. ニュース+フリートーク(掛け合い)② 13. カメラ前 立ちレポート① 14. カメラ前 立ちレポート② 15. 実技テスト 								
評価方法	平常点・成果発表・試験								
テキスト・参考書等	都度プリント配布								
備考	授業の復習すること								

科目名	ナレーション I								
担当教員	土屋 実紀								
講師紹介	ナレーター・声優／TVCM「アンパンマンカラーパソコン&タッチペンスクール」CMソング他多数担当。アニメ「マーメイドメロディぴちぴちピッチ(シェシュ)」等出演。担当教員は声優として多くのキャラクターを演じ、ナレーションにも出演。この実務経験を活かし指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ナレーションの基礎を身に付ける ・滑舌・発声・表現とは何かを学ぶ 								
授業概要	ナレーションとは、CMやテレビ番組、企業のVTR、社員教育用ビデオ等、色んな種類があります。求められるスキルや声、また、専門知識一つ一つを細かく説明して理解していただきます。文章を読むために必要な発声・技術・滑舌も指導します。授業では毎回新しい原稿を配り初見で読んでもらいます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・ナレーションとは 2. テレビナレーション / シンデレラエクスプレス 3. ラジオナレーション / あまの屋 4. テレビナレーション / 竹ちゃん鮎 5. 王子様お姫様コンテスト 6. テレビナレーション / ル・モンラッシュ 7. ラジオナレーション / 犬のワルツ 8. 収録実習 9. 朗読 / よだかの星 10. 朗読 / よだかの星 11. 難しいナレーション / チャームアップリップスティック 12. 難しいナレーション / 山田家の玄関 13. CMナレーション / 朝のリレー 14. 前期試験 15. まとめ 								
評価方法	平常点・成果発表・試験								
テキスト・参考書等	ナレーション原稿								
備考	アクセント辞典とストップウォッチは必須ではありませんが、代わるものがあれば準備しておきましょう								

科目名	ナレーションⅡ								
担当教員	土屋 実紀								
講師紹介	ナレーター・声優／TVCM「アンパンマンカラーパソコン&タッチペンスクール」CMソング他多数担当。アニメ「マーメイドメロディぴちぴちピッチ(シェシュ)」等出演。担当教員は声優として多くのキャラクターを演じ、ナレーションにも出演。この実務経験を活かし指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ナレーションの基礎を身に付ける ・滑舌・発声・表現とは何か、映像NAについても学ぶ 								
授業概要	<p>前期に引き続き文章を読むために必要な発声・技術・滑舌を指導します。授業には基本的に毎回新しい原稿を配布し初見で読むことを実践しますが、特に後期はバラエティや報道での映像を使ったナレーション実習にも力を入れたいと思います。現場で求められる一般的、また専門的な知識についても指導します。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 映像を使ったナレーション①バラエティ 2. 映像を使ったナレーション②バラエティ 3. 映像を使ったナレーション③バラエティ 4. 詩の朗読 バナナブレッドのプディング 5. VPナレーション①大学入学案内 6. VPナレーション②東海カーボン 7. 映像を使ったナレーション / 報道① 8. 映像を使ったナレーション / 報道② 9. 映像を使ったナレーション / 報道③ 10. CMナレーション くすりの窓口 11. 収録① 12. 収録② 13. 収録③ 14. 収録④ 15. まとめ 								
評価方法	平常点・成果発表・試験								
テキスト・参考書等	都度プリント配布								
備考	アクセント辞典とストップウォッチを持参すること								

科目名	イベントMC								
担当教員	森 雅紀								
講師紹介	ラジオDJ・パーソナリティー・俳優／ラジオDJ・テレビのレポーター・イベントMC・ナレーション・舞台役者・講師など多岐にわたる。担当教員はパーソナリティーとして数々の番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	人前で堂々とマイクを通してトークができるようになる。 広い視野が持てるようになる。								
授業概要	様々なパターンのイベント進行台本をもとに、実践に近い形でMCを体験していきます。一言でイベントMCと言っても、式典のような固いイベントもあればダンスや音楽ライブのような、エンターテインメントのイベント、また、スポーツ会場でのMCなどもあります。与えられた原稿をただ読むのではなく、声色、声のボリューム、言葉遣い、立ち方、必要とする知識など、多くのバリエーションを経験し、MCに必要な事を学んでいきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(MCとはどんな仕事なのか?) 2. 元気に楽しく盛り上げるイベントMC① 3. 元気に楽しく盛り上げるイベントMC② 4. 元気に楽しく盛り上げるイベントMC③ 5. 元気に楽しく盛り上げるイベントMC④ 6. 式典などの固めのMC① 7. 式典などの固めのMC② 8. 式典などの固めのMC③ 9. 式典などの固めのMC④ 10. ゲストを迎えてのインタビューがあるイベントMC① 11. ゲストを迎えてのインタビューがあるイベントMC② 12. ゲストを迎えてのインタビューがあるイベントMC③ 13. リズム感を身につける① 14. リズム感を身につける② 15. まとめ 								
評価方法	平常点・授業の理解								
テキスト・参考書等	都度プリント配布								
備考	とくになし								

科目名	番組制作								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあたっている。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	1.スタッフワーク、チームワークの大切さを知る 2.キャストとしてカメラの前でのパフォーマンスを経験する 3.自主性を身に付ける								
授業概要	しゃべりの仕事をするうえで知っておくべきスタッフの仕事に触れる。ラジオ番組、テレビ番組の企画、台本制作、リハーサル、本番、編集までを生徒主体で行う。カメラ、マイクなどの機材を使用しながら撮影していく。 自分が画面にどのように映っているか客観的に見る。								
授業計画	1. ガイダンス 2. マイクの種類について 3. 機材を扱う際の注意点 / カメラの基本操作 4. 企画・撮影・映像チェック① 5. 企画・撮影・映像チェック② 6. 企画・撮影・映像チェック③ 7. 企画・撮影・映像チェック④ 8. 企画・撮影・映像チェック⑤ 9. 企画・撮影・映像チェック⑥ 10. 企画・撮影・映像チェック⑦ 11. 企画・撮影・映像チェック⑧ 12. 企画・撮影・映像チェック⑨ 13. 企画・撮影・映像チェック⑩ 14. 企画・撮影・映像チェック⑪ 15. まとめ								
評価方法	出席率/授業への積極性								
テキスト・参考書等	プリント/台本など								
備考									

科目名	フリートーク I								
担当教員	宮川 賢								
講師紹介	ラジオパーソナリティ・演出家・劇作家・放送作家／TBSラジオ「宮川賢のデートの時間でそ?!」他冠番組多数。劇団ビタミン大使「ABC」主宰。(有)浜岡取締役社長。担当教員はパーソナリティとして数々の番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	地上波ラジオ出演者として、フリートークの編み出し方及び量産方法の取得。 ラジオにおけるフリートークの必要性を理解する。								
授業概要	地上波ラジオにおけるフリートークの必要性と、その実践方法を多角度より提示し、それぞれを複数回実践練習することにより、理解を促し、聞き手の不在でも一人での問わず語りを覚えるよう進行します。 フリートークそのものは、自由テーマが故に逆に指針のない中で戸惑いがちな部分を、ラジオのフリートークでありがちもしくは求められがちなサンプルテーマを毎回の授業で提示することで、フリートークの準備の仕方を理解させ、自分でテーマや内容を決められるように指導していきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス／自己紹介トーク 2. 家族をテーマにフリートーク 3. 友人をテーマにフリートーク 4. 時事ネタを取り上げる必要性の座学 5. 想像の範囲を広く展開する妄想術 6. 芸能ネタとその扱い方 7. 口語表現と不偏不党について 8. 放送上不適切な用語について 9. 時間帯とターゲットにより求められる事 10. 時節ネタをフリートーク 11. 長尺フリートークを展開 12. テーマをトーク開始直前に知ったうえでトーク 13. 政治の課題の取り上げ方 14. 感情をのせてのトークの必要性 15. 人の言葉の再現をモチーフにしたトーク 								
評価方法	平常点								
テキスト・参考書等	都度プリント配布								
備考	スマートフォン辞書の使用は可								

科目名	センスアップ								
担当教員	千脇 夏子								
講師紹介	接遇マナー研修講師／就職活動マナー研修・新入社員研修、国際イベント等のVIP対応スタッフ研修も担当。現在は女性マーケットに向けた研修も手掛ける。担当教員は応対接遇の指導において数多くの実績を持つ。この経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	ホスピタリティマインドの重要性の理解と実践。基本的なマナーの習得。印象アップ。自分も他者も大切にしたい言動が取れるようになる。								
授業概要	「もっとキレイになりたいな!」「内面からキラキラしたいな」の支援をさせていただきます。知識を蓄え、実践しつづけることで、必ず変わっていきます。知ろうとする探究心にも働きかけて少し恥ずかしいと思うことにも、チャレンジしていただきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、自己紹介 2. ホスピタリティとマナーについて ペアでワーク 3. 第一印象の重要性・印象メイキング、好感を与える表情、笑顔トレーニング 4. 好感を届ける基本動作① 姿勢の重要性など 5. 好感を届ける動作(応用) ウォーキング、ポージング 6. 好感を与える聴き方、ストロークについてワーク 7. アサーティブコミュニケーション さわやかな自己表現 8. 好感を与える話し方 敬語 マジックフレーズ 9. 好感を与えるナチュラルメイク 10. 色の基礎知識 色のメッセージ力 11. 和の文化に親しむ 食事のマナー 12. 着物の着付け(浴衣)① 自身での着付 13. 着物の着付け(浴衣や帯)② 着物での所作 14. テーブルマナーとパーティーマナー 15. 授業の振り返りとまとめ 								
評価方法	授業の出席率/授業の事前事後の学習効果/レポート提出								
テキスト・参考書等	資料は必要に応じてコピーをして配布/浴衣などはこちらの手持ちの物を活用								
備考	学んだことをどんどん日常に実践して自分のスキルにしていきたいと思っております。								

科目名	体幹をつくる美姿勢メソッド								
担当教員	若木 香里								
講師紹介	ダンサー／バレエ・ジャズダンス・タップ等ダンス歴30数年。96年より5年間NYに留学。「フロア・バー・テクニク」と出会い内側から正しく体を使う方法を知り本格的に学び認可取得。帰国後、大人の為の体作りとして「フロア・バレエストレッチ」講座を開講。「ベル・アロンジェ」主宰。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	今から(若いうちから)良い体の習慣を付けることで年を重ねても若々しく健康でいられる。								
授業概要	オーディションや面接など、その他体のため正しいキレイな姿勢(土台)・体幹(軸)を作っていく、第一印象で光る姿勢作り(内面)を行っていきます。その為、根本から理解し実践することが大事なので、授業の前半は、どこを、どう使うのか?を丁寧に説明しながら、1つ1つの項目ごとに理解を深めていきます。後半は、頭での理解を体に落とし込む作業に入ります。繰り返し反復しながら体に記憶させていきます。授業が終わってからも、日常で使い続けられるよう習慣付けていきます。体に集中した後、授業の前後は毎回、アロマでリラックスして、グラウンディングで内面の中心も軸をしっかりさせていきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、少し実践して体験してもらう 2. ウォーミングアップ(特に肩回り) テーマ①「お腹」インナーと腹筋の使い方の違いを理解 3. ウォーミングアップ(肩回り～足首) テーマ②「肩・うで」お腹とひき合うとは? 4. ウォーミングアップ(肩回り～足首) テーマ③「足とお腹」ひき合いを使うとは? 5. ウォーミングアップ(肩回り～足首) テーマ④「内もも」ストレッチボールを使って 6. ウォーミングアップ(肩回り～足首) テーマ⑤「背中」「足裏の使い方」 7. ウォーミングアップ(肩回り～足首) テーマ⑥「体全体のひき合い(横向きバランス)」 <p>①～⑥の使い方を理解したうえで、後半は、すべてのエクササイズをつなげてくり返しながら体に落とし込み府に落す作業に入ります。使い方の理解をしていれば、日常で使えるものなので、授業が終わってもあたり前のように、姿勢を保ちきれいに動ける土台を使っていきます。毎回姿勢チェックは、前半・後半ともにしていき、後半は、歩く・立つ・すわる・腕の運びなどもテストあり</p>								
評価方法	出席率/ 試験結果/ 体に集中して取り組んでいるか/ 授業で取得した姿勢や動作								
テキスト・参考書等	チューブやストレッチボール、ヨガ・ブロック、バンドなど								
備考	必ず動きやすい服装に着替える(床に寝て行うため)。できれば、ストッキングやタイツではなく、くつ下など足の指をひらきやすい状態が理想。								

科目名	アナウンス基礎Ⅰ									
担当教員	萬谷 宜子									
講師紹介	フリーアナウンサー・フリーパーソナリティー／元静岡FM放送アナウンサー。フリー後、FM世田谷他で活躍。近年はRFR「健康情報番組」、ROKでIKKOさんと共演。担当教員はフリーアナウンサー・リポーターとして数々の番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。									
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	前期	
到達目標	1.変なクセをつけずストレートに声を出し、共鳴する声が出せるようになる 2.一音一音口の中や表情筋を意識して動かせるようになる 3.基礎を意識して簡単な原稿読みやフリートークを上達させる									
授業概要	1年生は基礎を養うことが一番重要です。そのサポートを授業で行い、家に持ち帰って毎日練習することが上達への近道です。4月5月は、発声・腹式・表情筋についてなど基礎を勉強します。6月頃から滑舌につながる50音の調音点を学習。1つ1つの音の大切さをさらに知る為に原稿読みをスタートさせます。口の中、表情筋の動かし方を学びます。加えてしゃべり手は、「見た目」も重要です。いかに清潔感と説得力を持って伝えられるか…、業界の話を交えて講義もします。									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / 自己PRの方法と実践・収録 2. 自己PR収録チェック→アドバイス 3. 発声基礎① ストレッチ／腹式呼吸 4. 発声基礎② 表情筋ストレッチ／喉の仕組み 5. 発声基礎③ 母音・共鳴・調音 6. 発声練習／各行の調音点／50音 7. 発声練習／各行の調音点／鼻濁音 8. 発声練習／容姿・ファッション・行動について 9. 発声練習／原稿読み(影アナ) 10. 発声練習／原稿読み(影アナ) 11. 発声練習／特殊な音 12. 発声練習／特殊な音 13. 実技テスト 14. 実技テスト 15. まとめ 									
評価方法	平常点・授業の理解・成果発表・試験・課題レポート									
テキスト・参考書等	アナウンスハンドブック									
備考	アナウンスハンドブックは毎回持参すること。後期に入るまでにアクセント辞典を用意しておくこと。									

科目名	アナウンス基礎Ⅱ									
担当教員	萬谷 宜子									
講師紹介	フリーアナウンサー・フリーパーソナリティー／元静岡FM放送アナウンサー。フリー後、FM世田谷他で活躍。近年はRFR「健康情報番組」、ROKでIKKOさんと共演。担当教員はフリーアナウンサー・リポーターとして数々の番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。									
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	後期	
到達目標	「声を出す」事をしっかりと身に付けさせる。滑舌練習をスタートさせて1音1音調音点確認して丁寧に音を出すことを目標とする。アナウンス科最大の目標のアナウンス発表会に向けて最大限の力を出せるよう準備する。									
授業概要	「声を出す」事を、身体と表情筋などを使ってさらにレベルアップしていきます。後期から滑舌練習に取り組み始め、口の中の癖を1人1人チェックして矯正して行きます。また原稿(ニュース・天気予報・お知らせ等)を読ませる機会を増やして、読みグセを取り除いて感情表現のノウハウ等講義していきます。一番の目標はアナウンス発表会です。 本番までに、構想確認・プレリハ・ランスルーと、3回程段階を踏んで完成に向けて指導します。その合間で、アクセント授業を行い、アクセント記号の読み方・書き方、耳で正確にアクセントを取るなど訓練します。									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 夏休みリポート課題 発表 提出 2. 発声・滑舌練習 原稿読み課題 3. 発声・滑舌練習 アナウンス発表会構想確認 4. 発声・滑舌練習 アクセント授業 5. 発声・滑舌練習 フリートーク練習 6. 発声・滑舌練習 アナウンス発表会 プレリハ 7. アナウンス発表会 オールリハ 8. 発声・滑舌練習 アクセント授業 9. 発声・滑舌練習 アクセント授業 10. 発声・滑舌練習 お天気レポート 11. 発声・滑舌練習 原稿読み課題 12. 発声・滑舌練習 フリートーク練習 13. 実技テスト 14. 筆記試験 15. 授業振り返り 									
評価方法	平常点・試験・課題レポート									
テキスト・参考書等	アナウンスハンドブック・アクセント辞典									
備考	電子辞書も可									

科目名	放送業界講座 I								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあっている。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	54時間	開講時期	通年
到達目標	1.業界の「今」を知り、知識を深める 2.様々な職種のゲストの講義・実習を通して視野を広げる 3..エンターテイメントの現場に生で触れ / 感性を磨く								
授業概要	現場の方々に業界の話を聞いてみよう アナウンサー、ナレーター、ラジオDJなど現場の方を招いての特別講座です。普段聞くことのできない現場のリアルな話を聞き知識を深めます。授業はゲスト現場体験を学生らの質問を交えて話を進めます。時には読みの実習も行います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. ラジオ関連分野ゲスト① 3. ラジオ関連分野ゲスト② 4. ラジオ関連分野ゲスト③ 5. ナレーション関連分野ゲスト① 6. ナレーション関連分野ゲスト② 7. ナレーション関連分野ゲスト③ 8. アナウンサー関連分野ゲスト① 9. アナウンサー関連分野ゲスト② 10. アナウンサー関連分野ゲスト③ 11. 事務所所属の卒業生ゲスト① 12. 事務所所属の卒業生ゲスト② 13. 事務所所属の卒業生ゲスト③ 14. まとめ① 15. まとめ② 								
評価方法	出席状況、授業への積極性 / レポート提出状況								
テキスト・参考書等	ゲストにより異なる								
備考	ゲストのスケジュールにより授業計画は変更の可能性あり								

科目名	就職・オーディション講座Ⅰ								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあたっている。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分が納得のいく進路を決定するため自ら活動できるようになる 2. 卒業生ゲストの講義を通して進路の選択肢の視野を広げる 3. 就職・デビュー活動ができるよう履歴書・プロフィール用紙を完成させる 								
授業概要	<p>就職対策・オーディション対策の両方を学ぼう。</p> <p>就職対策では、就職活動ではどのようなことが大切なのか、履歴書の書き方や筆記試験・面接でのポイントを学びます。オーディション対策では、プロダクション関係者や現役のナレーター・アナウンサーをゲストに招き、オーディションを受ける際のポイントなど講義してもらうほか、メイクレッスンなども取り入れます。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要説明、ガイダンス 2. オーディション対策① 3. オーディション対策② 4. プロフィール写真撮影 5. プロフィール用紙作成 6. 自己PRとは /アナウンス発表会に向けて 7. アナウンス発表振り返り 8. 卒業生ゲストトーク または業界関係者による講義 9. 卒業生ゲストトーク または業界関係者による講義 10. 就職活動対策① 11. 就職活動対策② 12. 就職活動対策③ 13. 就職活動対策④ 14. 目標計画表作成 15. 全体のまとめ 								
評価方法	平常点・授業の理解								
テキスト・参考書等	都度プリント配布								
備考	とくになし								

科目名	ヴォイストレーニング I								
担当教員	長岡 公子								
講師紹介	フリーアナウンサー／TBS・ラジオ日本・ジャパンFMネットワーク等でパーソナリティー・キャスターを担当。担当教員はヴォイストレーナーとして数多くの俳優・タレント・アナウンサーを育成した実績を有する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・喉に負担をかけず声を鍛える発声方法を身につける ・音に対する感覚を研ぎ澄まし、音を聴き分けられるようにする 								
授業概要	<p>声を鍛える為、毎回、1人ずつ声をチェックしながら、発声練習をしていきます。はじめは、腹式呼吸、そして口の開き方、唇の使い方、舌の位置等も確認していきます。大勢の前で大きな声を出す事を、初めは難しいと感じる人も、何回も繰り返す事で、自信を持って大きな声を出せるようにしていきます。又、他の人が発声をしている時にも音を良く聴き、音を聴き分ける耳を育てていきます。</p> <p>前期の終わりには、自分の声に変化した、と感じてもらえたら良いと思います。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、受講者の自己紹介 2. 発声の基礎練習①腹式呼吸、口の開き方 3. 発声の基礎練習②アエイウエオアオ 4. 発声の基礎練習③アエイウエオアオ(1人ずつチェック) 5. 発声の基礎練習④息を長く使ってアイウエオ… 6. 発声の基礎練習⑤アイウエオ、イウエオア(1人ずつチェック) 7. 言葉を使っての発声練習①ジャックのたてた家 8. 言葉を使っての発声練習②ジャックのたてた家(1人ずつチェック) 9. 言葉を使っての発声練習③ジャックのたてた家(発表) 10. 外郎売を使っての発声練習① 11. 外郎売を使っての発声練習② 12. 外郎売を使っての発声練習③ 13. 外郎売を使っての発声練習①(1人ずつチェック) 14. 外郎売を使っての発声練習②(1人ずつチェック) 15. 1人ずつ発表、授業のまとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、試験								
テキスト・参考書等	アナウンスハンドブック、初回に使用するプリントを配布								
備考	動きやすい服装、口形をチェックできる手鏡を持参すること。 声を出すので、水分も持参すること。								

科目名	ヴォイストレーニングⅡ								
担当教員	長岡 公子								
講師紹介	フリーアナウンサー／TBS・ラジオ日本・ジャパンFMネットワーク等でパーソナリティー・キャスターを担当。担当教員はヴォイストレーナーとして数多くの俳優・タレント・アナウンサーを育成した実績を有する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・喉に負担をかけず声を鍛える発声方法を身につける ・音に対する感覚を研ぎ澄まし、音を聴き分けられるようにする 								
授業概要	<p>声を鍛えていきます。長時間大きな声で話しても声が枯れない事、力まず話しても声が届くこと、できれば響きのある声で話せるようになることを目指します。そのために毎回1人ずつ発声をして改善点をコメントし、自分の喋る音を聞き、音を聞き分けられるようチェックしていきます。言いにくい言葉、早い言葉も、はっきり聞きやすく喋れるように「外郎売」等を使いながら、1人ずつチェックしていきます。また、文章読みやフリートークもしながら、その声・発音もチェックします。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス/前期の復習 2. 前期の復習 / 呼吸・口の開き方を鏡でチェック 3. 発声の基礎練習① 4. 発声の基礎練習② 5. 発声の基礎練習③ 6. 発声練習とフリートーク① 7. 発声練習とフリートーク② 8. 原稿読み① 9. 原稿読み②(1人ずつチェック) 10. 外郎売を使つての発声① 11. 外郎売を使つての発声② 12. 外郎売を使つての発声③(1人ずつチェック) 13. 外郎売を使つての発声④(1人ずつチェック) 14. 実技試験① 15. 実技試験② 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、試験								
テキスト・参考書等	アナウンスハンドブック								
備考	動きやすい服装、口形をチェックできる手鏡を持参すること。 声を出すので、水分も持参すること。								

科目名	感情解放								
担当教員	森 雅紀								
講師紹介	ラジオDJ・パーソナリティー・俳優／ラジオDJ・テレビのレポーター・イベントMC・ナレーション・舞台役者・講師など多岐にわたる。担当教員はパーソナリティーとして数々の番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	自分自身の感情と向きあい、理解し受け入れる 自分らしさとは何か？楽しむとはどのような事か？ 理解を深め表現の幅を広げていく								
授業概要	人前で表現をする事による、プレッシャーや恥ずかしさは何故出てくるのか？自分自身の心に向き合うために、ゲームや身体を動かすワークを取り入れながら、自身の感情の動きに気付いていくようにします。演技の台本を使って、喜怒哀楽の感情が表に出せるように体験をしていきます。基本的には実習中心の授業内容になります。声を出して身体を動かして、表現する事の楽しさを学べるように課題を渡していきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感情を解放するとは？ 2. ゲームをしながら、とにかく楽しむ① 3. ゲームをしながら、とにかく楽しむ② 4. ゲームをしながら、とにかく楽しむ③ 5. 喜怒哀楽の台本を使って表現を試みる① 6. 喜怒哀楽の台本を使って表現を試みる② 7. 自分の好きな物・事10個についてトーク① 8. 自分の好きな物・事10個についてトーク② 9. イベントの台本を使って自由にトークを試みる① 10. イベントの台本を使って自由にトークを試みる② 11. 演技台本を使って表現をする① 12. 演技台本を使って表現をする② 13. 演技台本を使って表現をする③ 14. インプロゲームをしながら感情解放のまとめ① 15. インプロゲームをしながら感情解放のまとめ② 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)・授業の理解								
テキスト・参考書等	都度プリント配布								
備考	とくになし								

科目名	学園行事Ⅰ								
担当教員	船場 吉行(他、教員が担当)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学園行事を通じて様々なイベントを体験することで協調性とコミュニケーション能力が高まる ・社会性。一定のルールの下で行動することで、自身がクラスやグループの一員であることを自覚する。 								
授業概要	<p>学生が2年間で体験する学園生活の中で、起点となるイベントは卒業後振り返ってみても実に思い出深いものになることが多い。本校の学園行事は日頃の専門教育から離れて学科間を越え、時には学校間を越えて、ひとつのことを共に経験する過程で得る、貴重な体験を積んでほしい。通り一遍の参加ではなく、積極的な取り組みを願う。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス合宿1日目／アドバイザー企画のイベント、面接他 2. クラス合宿2日目／アドバイザー企画のイベント、面接他 3. 東放学園合同運動会／エントリー種目、全員参加種目他 4. スポーツ大会／クラス対抗ドッチボール参加、他 5. 学園祭①／クラス・クラブ、有志団体参加他 6. 学園祭②／クラス・クラブ、有志団体参加他 								
評価方法	イベント毎に参加した際の平常点を総合して判断								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	現地集合のイベントの場合は交通事情をよく調べてから行動を起こすこと								

科目名	芸術鑑賞Ⅰ								
担当教員	船場吉行他(クラスアドバイザー、教員)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメントの華やかなパフォーマンスに刺激を受け授業の糧にする。 ・実際の舞台上で演じる役者のセリフや動き見て、授業等の課題について考えることができる。 ・進路先選びの参考になる 								
授業概要	専門分野の知識・見識を高めるためにプロのパフォーマンスを鑑賞することは重要なことである。芸術鑑賞は該当する学科が学年に応じてテーマを持ち、将来進むエンターテインメント業界の仕事を垣間見る機会をつくる。世間の誰もが知る劇団や評判の高いプロデュース公演、大小様々劇場や美術、場内アナウンスに至るまですべてを吸収して刺激を受けよう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鑑賞作品(1)タイトル未定／作品については劇団、主催等が提案する年次の公演一覧から担当者目的に応じて、作品のテーマ・演出家・出演者等から選ぶ 2. 鑑賞作品(2)タイトル未定／上記に同じ 3. 鑑賞作品(3)タイトル未定／上記に同じ 4. 鑑賞作品(4)タイトル未定／上記に同じ 								
評価方法	参加当日の平常点と鑑賞後のレポートを重視								
テキスト・参考書等	レポート用紙(個人で用意)								
備考	観劇中のマナーは要注意								
テキスト・参考書等	とくになし								
備考									

科目名	アナウンス発表 I								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあっている。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	1. 発表を通して、現在の自分のアナウンス技術、パフォーマンスレベルを知る 2. 厳しい目で評価されることで、日々の練習の大切さを理解する								
授業概要	プロのアナウンサー、ナレーター、ラジオDJや、プロダクション関係者の前でステージに立ち、自己PRと自由発表を行う。 発表会までに各自プロフィール用紙、使用する音源、キューシートを準備する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. アナウンス発表会概要について説明 2. プロフィール用紙の書き方を学ぶ / プロフィール写真選びをする 3. 発表内容の構成を考え、練習する 4. 音素材、キューシートの準備 5. アナウンス発表会 6. 審査用紙返却 / 当日の映像を見ながらフィードバック① 7. 当日の映像を見ながらフィードバック② 								
評価方法	当日のゲスト審査員による採点								
テキスト・参考書等	とくになし								
備考									

科目名	落語								
担当教員	三遊亭 丈二								
講師紹介	平成2年、三遊亭円丈に入門。前座名、三遊亭小田原丈。平成6年、二ツ目昇進、その後、上方落語の勉強のため一年半京都在住。平成17年秋、真打昇進、丈二となる。。担当教員は落語家として数多くの高座を務める。この実務経験を活かして本高座を担当する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	実際に一席の落語を演じられるようになる。まくらを通して人前で話す力の向上。								
授業概要	まくらで人前で話す事に慣れ、喋りで他人に伝える力を養って貰います。又、トークテーマを探す事で、日々見過ごしていたものにも目を向ける感性を磨いてほしいです。短い噺ですが、落語を一席お教えします。演じる時までには覚えてきてください。落語は座ったまま、道具も使わず一人何役も演じます。この落語的手法をマスターすれば他のジャンルでも役立つでしょう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス 2. 自己紹介、落語 3. まくら(フリートーク) 落語の歴史 4. まくら 落語の種類 5. まくら 課題の噺を仕込む 6. まくら 上下について 7. まくら 所作について 8. まくら 描写について 9. まくら 小噺 10. まくら 大喜利 11. まくら 落語を演じる、大喜利 12. まくら 落語を演じる、大喜利 13. まくら 落語を演じる、大喜利 14. まくら 落語を演じる、大喜利 15. 落語を演じる 								
評価方法	演じた落語の成果/まくらによるトーク力の成果/出席率								
テキスト・参考書等	特にありません。扇子を使いますが、こちらでお貸し致します。								
備考	着物を着る必要はありませんのでご安心ください。課題の噺を仕込む時は、何か録音できる物を持参下さい。								

科目名	講談
担当教員	神田 紫
講師紹介	講談師／二代目神田山陽に入門。平成元年真打昇進。日本講談協会元会長。朝日新聞カルチャースクール講師。環境講談「もったいない善兵衛」創作。担当教員は講談師として数多くの高座を務める。この実務経験を活かして本高座を担当する。
開講年次	1年次/2年次 必/選 選択 授業形態 実習 時間数 36時間 開講時期 前期/後期
到達目標	今までに経験したことのない「話芸」の術を身につける。ひとり語りの技術を身につけ、「講談」を“特技”として仕上げる。
授業概要	「講談」は、それ以外の語りや会話、セリフ術では使わない高い音と低い音を使い、「間」(ま)を大事にします。講談独特の講談調子(イントネーション)、リズム、緩急、間(ま)を学びます。「講談」という物語の語り方を学ぶ中で、上記の技術を繰り返し実践し、身につけて行きますが、それは、教材の「講談」を暗記して語れるようになって初めて身につくもので、暗記する努力が必要です。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「講談」について説明、自己紹介、実演 2. 語りに使う「張り扇」の使い方、基礎訓練 3. ①教材の意味、音の高低とイントネーション 4. ①教材のリズム、間の取り方 5. ①教材の音の高低、イントネーション、リズム、間の訓練 6. ①教材の音の高低、イントネーション、リズム、間の訓練、全体で仕上げる 7. ①教材の実技訓練、総まとめ 8. ②教材の意味、音の高低、イントネーション 9. ②教材のリズム、間、セリフの語り方 10. ②教材のリズム、間、イントネーション、語り手の部分とセリフの部分の語りの訓練 11. ②教材の高低、イントネーション、リズム、張り扇の①と別の叩き方の訓練 12. ②教材の読み方の訓練、登場人物が戦う場面の演技訓練 13. ②教材の中で、特別なリズム、イントネーション、張り扇の叩き方をする場面の訓練 14. ②教材の中の登場人物が弓を射る場面の演技訓練、総まとめ 15. ①または②の教材を選んで実技試験
評価方法	実習テストの結果/授業の出席率/授業内での、事前事後学習の成果
テキスト・参考書等	3つの教材を配布。1つは基礎訓練としてのみ使用。
備考	講師が語る内容を録音して頂きますので、録音機能のついた物を準備してください。筆記用具を準備してください。飲み物も持参してください。

科目名	教養基礎講座								
担当教員	伊藤 哲								
講師紹介	大学卒業後、農林記者としてカルフォルニア米の取材で渡米、その後英国に留学しスコットランドで哲学と経済学を学ぶ。帰国後は大学や専門学校等で講師として教壇に立つ。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	幅広く社会(経済・情報・政治等)の仕組みや出来事を知り、理解することで教養を身につける。 正確な情報や知識を身につけることで、自分の意見を展開できる社会人・業界人を目指す。								
授業概要	本授業では、毎回テーマを設けて、そのテーマや出来事の背景や仕組みなどをやさしく解説・コメントをしていきます。さらに、そのテーマが扱っている様々な側面にもアングルを広げ、自分たちと社会的にどのような関係性があるかを確認していきます。その後、各テーマへの受講生の皆さんの感想や意見を求めていきたいと考えています。【受講方法】・オンデマンド方式によるオンライン授業。・授業はGoogle classroom を使用して配信する。・授業を視聴した後で毎回課題の提出が必須。・課題の提出を以って出席とみなす。(1回の授業で視聴と調べ学習がセット)								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Google classroom 登録/ 授業概要・講師紹介/ 課題無し 2. 新型コロナウイルス禍の私たちの社会と生活 3. ニューノーマルとは何だ？ 4. 情報社会と個人の関係性 5. 経済社会の構造と私たちの欲望 6. 本当に世界は平和なのか？ 7. 資本主義と格差社会 8. 環境問題への取り組みは未来を見つめている？ 9. リアルと仮想の境界線とは？ 10. 流行を造る人とその流行に踊らされる人 11. 本当に私は生きているの？ 12. 時代の最先端って何？ 13. 人の嗜好は思考から？環境から？ 14. 誰が私を愛してくれる？ 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)/ 授業の理解/ 課題・レポート								
テキスト・参考書等	各自で最新の様々な正確な情報やニュースに敏感になること。適宜、参考となる資料を提示する。								
備考	上記の授業計画の各テーマのタイトルや内容は、出来れば最新の話題となっている事件・事故・問題等を扱っていきたくので、あくまでも計画時のタイトルである。したがって、現代社会情勢の流れなどを加味し、受講生の皆さんに関心を持ってもらいたいテーマを各回で取り上げていきたい。								

科目名	アクターズレッスン(一川)									
担当教員	一川 靖司									
講師紹介	木山事務所所属、Pカンパニー創立メンバー。別役実、岸田國士、シェイクスピア等多数の舞台に出演。ニューヨークをはじめ海外公演にも参加。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。									
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期	
到達目標	セリフをどのように感情を乗せていくかを理解し、動きに結びつけた表現力を体得する。相手の状況に応じたアクションを学び、次のセリフにつなげる体験をすることで表現のバリエーションを増やす。									
授業概要	演技において大切なことは「伝えること」と「交流すること」です。授業ではセリフのあるエチュードで感情とそれに伴う動きをどう伝えるかを実践し、受け手としてのリアクションを表現として成り立つような実習を行います。後半では相手役を増やし複雑な状況での表現を戯曲の一場面を使い、発表という形の経験をしてもらいます。同じ状況下でも表現方法はひとつだけではありません。共演者と柔軟に交流し、表現のバリエーションを増やすための準備の方法を取り組んでいきます。									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス 言葉を使ったゲーム 2. 感情の伝達と交流① セリフ有りひとりエチュード 3. 複雑な状況での交流①複数での戯曲の場面を演じる 4. 複雑な状況での交流②複数での戯曲の場面を演じる 5. 複雑な状況での交流③複数での戯曲の場面を演じる 6. 相手との掛け合いと柔軟性②二人で演じるエチュード 7. 相手との掛け合いと柔軟性③二人で演じるエチュード 8. 相手との掛け合いと柔軟性④二人で演じるエチュード 9. 感情の伝達と交流② セリフ有りひとりエチュード 10. 感情の伝達と交流③ セリフ有りひとりエチュード 11. 相手との掛け合いと柔軟性①二人で演じるエチュード 12. 複雑な状況での交流④複数での戯曲の場面を演じる 13. 複雑な状況での交流⑤複数での戯曲の場面を演じる 14. これまでの成果発表 15. 授業のまとめ 									
評価方法	毎回の授業内の成果									
テキスト・参考書等	セリフ・台本のプリントは必要に応じて配布									
備考	床に寝転ぶことも可能な動きやすい服装で。与えられる課題は相手役と協力して成果が得られるものなので、休むことなく出席し続けてください。									

科目名	アクターズレッスン(今泉)								
担当教員	今泉 厚								
講師紹介	俳優／円研究所出身。歌舞伎座等の古典からマジックカンパニーでの全国巡業、海外公演、ミュージカル、映像作品等多岐にわたり出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	様々な表現オーダーへの対応力を身につける。学年や演技的キャリアを越えたコミュニケーションスキルが向上する。								
授業概要	俳優や声優には作品や配役に応じた表現力が求められます。更には、キャスティングされる為には、オーディション等のハードルを越えなければならない場合も多々あります。授業では演技的要求に応えられるように、エチュードやインプロ、短編ドラマ等、多角的なショートプログラムによる訓練を行います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業がイタズと質疑応答、自己紹介(PR) 2. a.身体と声のウォーミングアップ(前回) b.コミュニケーションのシアターゲーム① 3. a.身体と声のウォーミングアップ(回数によりバージョンUP) b.エチュード①(ソロ) 4. a.身体と声のウォーミングアップ b.感情解放 c.セリフ集中暗記術 5. a.身体と声のウォーミングアップ b.観察とコミュニケーションのエチュード② 6. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ①(独り~2人) 7. a.身体と声のウォーミングアップ(バージョンUP) b.映画鑑賞 8. a.身体と声のウォーミングアップ b.シアターゲーム② 9. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ②(アンサンブル)距離感 10. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ②(アンサンブル)ベクトル、アクセント 11. a.身体と声のウォーミングアップ(バージョンUP) b.セリフ②(アンサンブル)グループ発表 12. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ③(ショートシーン/読み合わせ) c.シナリオ創作 13. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ③(ショートシーン/空間取り) c.シナリオ創作 14. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ③(ショートシーン/空間取り)グループ発表、c.シナリオ創作(完成まで) 15. a.身体と声のウォーミングアップ b.上記cの創作シナリオ発表 c.授業まとめ、感想と成果 								
評価方法	授業の出席率/取り組む姿勢や授業態度/達成度や実技発表								
テキスト・参考書等	課題プリントやセリフプリント等は必要に応じて配布します								
備考	動きやすい服装で参加して下さい。筆記用具も持参してください。その他、事前に指示する場合があります。								

科目名	アクターズレッスン(押田)								
担当教員	押田 浩幸								
講師紹介	俳優・声優／アーツビジョン・劇団あかぺら倶楽部所属。アニメ「霸王体系リューナイト」他。舞台「パパ・アイ・ラブ・ユー(デーヴィット・モーティマー)」他多数出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	俳優として表現の基礎訓練。表現の限界をぶちこわせる役者になる。								
授業概要	エチュードを使用して皆の前で演じて貰います。台本の読み方や、感情表現を重点に戯曲の抜粋等を使い進めていきたいと思えます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. ガイダンス・自己紹介 3. 台本の読み方について 4. 台本の読み合わせ 5. 実際に動いてみる 6. 立ち稽古 7. 発表 8. 次の台本の読み合わせ 9. 読み合わせ 10. 動きの確認 11. 立ち稽古 12. 部分稽古 13. 通し稽古 14. 通し稽古 15. 発表 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)/ 授業の理解								
テキスト・参考書等	台本は必要に応じて配布								
備考	動きやすい服装で来ること。								

科目名	アクターズレッスン(江上)								
担当教員	江上 真悟								
講師紹介	俳優／文学座附属演劇研究所を経て、映画「鍵」でデビュー。「SP」「相棒」他多数のドラマに出演。美輪明宏演出・主演作品の舞台にも定期的に出演している。現代書道家。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	基礎訓練の目的とその練習方法を取得。表現力(台詞・身体・感情)の向上。								
授業概要	前半では表現者にとって必要な基礎訓練(声と身体)の目的意識を強く持ってもらい、中盤では芝居の基本である二人芝居のエチュードを実施し演技の交流を体感させ、後半は発表向けグループによる脚本で作品創りを経験してもらいます。授業外での自主稽古も各自積極的に取り組んで下さい。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介、授業内容の指針 2. 身体トレーニングの目的と練習方法、発声の目的とその練習方法① 3. 発声②、調音練習① 4. 調音練習② 5. 台詞と感情のキャッチボール①(二人一組の短編脚本) 6. 台詞と感情のキャッチボール②(二人一組の短編脚本) 7. 台詞と感情のキャッチボール③(二人一組の短編脚本) 8. 台詞と感情のキャッチボール④(二人一組の短編脚本) 9. 台詞と感情のキャッチボール⑤(二人一組の短編脚本) 10. 表現力と創造性の向上①(グループによる脚本) 11. 表現力と創造性の向上②(グループによる脚本) 12. 表現力と創造性の向上③(グループによる脚本) 13. 表現力と創造性の向上④(グループによる脚本) 14. 表現力と創造性の向上⑤(グループによる脚本) 15. 教室発表、まとめ 								
評価方法	授業への姿勢と出席率								
テキスト・参考書等	使用脚本配布								
備考	動きやすい服装とレッスン用シューズを持参、及びノートと筆記用具も用意すること。								

科目名	アクターズレッスン(永田)								
担当教員	永田 耕一								
講師紹介	俳優／文学座研究所卒。劇団青俳を経て、劇団スーパーエッセントリックシアターの旗揚げに参加。舞台やテレビドラマ、ラジオ、CM等に多数出演している。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	演技力の向上。作品の解釈を理解出来る。								
授業概要	作品の事を、とにかく考えて色々な方向から稽古をしてもらい、早く演出家の考えを見抜く力を持ってもらいます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス 2. 5人一組で15分の芝居を創る 3. 喜怒哀楽を即興で演じる 4. 怒りの台詞 5. 悲しみの台詞 喜びの台詞 6. 一人芝居の本読み 7. 長い台詞のアプローチの仕方 8. " 一本調子にならない読み方 9. " 感情の入れ方 10. 一人芝居の通し 11. 待ち合わせ 本読み 12. 待ち合わせ 前半立ち稽古 13. 待ち合わせ 後半立ち稽古 14. 待ち合わせ 通し稽古 15. 教室内発表 								
評価方法	台詞の上手さ/発声・アーティキュレーション/身体の動き								
テキスト・参考書等	台詞・台本は必要に応じて配布します。								
備考	動きやすい服装。台詞はすぐに覚える！								

科目名	アクターズレッスン(林)								
担当教員	林 英樹								
講師紹介	演出家・劇作家・俳優／「身体と表現」「劇作り」をテーマに演劇ワークショップを多数実施。日本演出者協会、国際演劇協会にて人材育成や国際交流プログラムを担当。担当教員は演出家として様々な舞台公演を手掛けた実務経験を活かして指導に当たる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期／後期
到達目標	想像する能力を高める。構成する力を身につける。表現能力を育成する。								
授業概要	演劇は英語でプレイと言います。本授業では、人が本来持っている遊戯的な感覚を育み、豊かにし、そのことと演ずることをつないでいくための手法、エクササイズを活用しながら応用し、エチュードと話し合いを重ねて、役や場면을創造しながらの作品作りを体験してみます。また授業内で短い場面、作品(短編演劇)を創作発表し、意見交換を積極的に行います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、自己紹介 2. 即興エクササイズの実施 3. 即興エクササイズからショートシーンへ 4. エチュードからショートシーンへ 5. 三～四人のチームに分かれ、エチュードで短い場面を作る 6. エチュードとチームの話し合いを重ねて短い場면을構成してみる 7. エチュードを元に創作する① 互いに他の発表を見て意見交換する 8. 新たなチームを作り、エチュード開始 9. チームでの話し合いとエチュードを重ねて作品作りを進める 10. エチュードを元に創作する② 互いに他の発表を見て意見交換する 11. 創作案の提案をする 創作案からエチュードを始める 12. 短い劇(短編演劇)の創作の試み① 13. 短い劇(短編演劇)の創作の試み② 14. 創作の発表と意見交換 15. 授業の振り返り 								
評価方法	授業の出席率/課題取り組みへの姿勢/事前事後学習の成果/実技発表								
テキスト・参考書等	セリフや台本は必要に応じて配布								
備考	動きやすい服装、もしくは着替えを持参すること。								

科目名	アクターズレッスン(安田)								
担当教員	安田 夏望								
講師紹介	俳優・演出家／日本演出家協力員。企画制作春夏秋冬代表。ワークショップ「アクティング・セッション」「声を創る教室」を主宰。「曾根崎心中」「招かざる客」等多数出演。担当教員は舞台活動を中心とした実務経験に基づいて担当授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	すてきなアクター、アクトレスは演技の楽しさを知っている人です。素直に演技を自分の中にとり入れて、自分の魅力を見つけましょう。								
授業概要	ひとつひとつ基礎をつみかさねながら、その表現をみつけていきます。声も、体も、心も自由になれるよう、自分自身の硬さや柔らかさをうけとめ表現していきます。ストレッチはもちろん、基本的な声の可能性をひろげ、エチュードを通して心の柔軟性を身につけ、毎回の時間、あたらしい自分を発見していきましょう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業説明、自己紹介、ストレッチ、発声 2. 自分の声、自分の体を知る 3. ストレッチとブレス、ブレスと声量 4. 大きな声とはっきりした声 5. 歩きとブレス、歩きと声 6. エチュード すれちがう 7. エチュード 声をかける 8. 感情表現と声と体 9. 感情(喜怒哀楽)と声と体 10. 感性について 五感 11. 見る、聞く 12. 五感と感情をつくる 13. 心がうごくことを待つ 14. 相手のセリフを聞く 15. セリフのやりとり、からみ 								
評価方法	意欲/出席/可能性/成長								
テキスト・参考書等	テキスト有/随時必要なものを配布								
備考	動きやすい服装、すべらないうわばき。								

科目名	取材・インタビュー実習								
担当教員	服部 恭子								
講師紹介	フリーアナウンサー・リポーター／地元のCBCテレビ「土曜9じ半只今参上」でデビュー。名古屋テレビ・FM愛知等週6本のレギュラーを担当。担当教員はフリーアナウンサー・リポーターとして数々の報道番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力をブラッシュアップしていきながら、リポーターとして最も重要な取材力・レポート原稿の作成・レポートを生放送の現場で対応できるよう、技術力・判断力を養う ・各個性を伸ばしていく 								
授業概要	<p>レポート原稿の作り方、取材のポイント、集めた情報の取捨選択(何を残して何を捨てるか)、その場の空気・臨場感をレポートでどれだけ伝えられるのか？刻一刻と変化していく情報をどう伝えていくのか？といった重要なレポートから、街リポや食リポなど娯楽性のあるレポートまで、様々な現場で対応できる即戦力となるよう、トレーニングをしていく。マスコミ人である前に一人の人間としても人間性と思いやり、そして生き抜く強さを同時に教えていきたい。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎力のブラッシュアップ 2. 文章読み チェンジオブペース 3. 表現力概論・伝え方 4. 新聞記事の読み取り方 レポート作成 5. 事件・事故のレポート 実践 6. 現場レポート 訓練 7. 情動コントロール能力トレーニング 8. 敬語・言葉の使い方 9. インタビュー(1対1)実践トレーニング 10. インタビュー(1対数多)実践トレーニング 11. テレビレポート(グルメ・商品) 12. テレビレポート(グルメ・商品) 13. 囲み取材、記者会見 14. 実技試験 カメラ前レポート 15. まとめ 								
評価方法	平常点・成果発表・試験・課題レポート								
テキスト・参考書等	CM原稿、ナレーション原稿などはその都度配布								
備考	2年生の前半ですでに完成させなければいけないので、半端な気持ちでは授業についてこれません！気を引き締めて臨んでください！								

科目名	フリーアナウンサー実習								
担当教員	ジョイスタッフ								
講師紹介	プロダクション／幅広いメディアで活躍しているオールラウンドプレイヤーによって構成。TBS「ニュースの森」リポーター、J-WAVEニュースキャスター他。本講座は王蟲にバス形式で展開。担当教員はプロダクションの認めた実務経験を有する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	様々な現場を想定した授業を通し、フリーアナウンサーとしての基本的な心構えや考え方、対応力を身に付ける								
授業概要	「フリーアナウンサーとは？」をテーマにして、自己PR・オーディション・司会・ブライダルMC・リポート・インタビューなど様々な現場を想定した実践形式の授業を行います。現役アナウンサー3名が担当し、それぞれがバラエティに富んだ現場感覚を元にアナウンスの基礎はもちろん、基本的な心構えや考え方、対応力を伝えていきます。動画撮影も取り入れながら、客観的に自分自身を見る力を養います。受け身ではなく、能動的に授業に臨み、技術だけでなく精神力も鍛えていきましょう！								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己PR動画撮影→自分のクセを知る 2. イベント進行台本を練習① 目的・目標の把握 3. イベント進行台本を練習② 目的・目標の把握 4. イベント進行台本を練習③ 自分のクセを知る 5. イベント進行台本を練習④ 洞察力を鍛える 6. ブライダルMCとは？ MCとしての身だしなみ 7. 司会打ち合わせのノウハウ（迎賓・入場） 8. プロフィール作成 9. ご披露宴当日の流れ（ケーキ入刀） 10. 人前式とは？ブライダルMCまとめ（おひらき） 11. 聞き手の気持ちを考える① 実際のイベント台本を使ってMC・観客実習 12. 聞き手の気持ちを考える② アナウンス原稿を使い、合いの手を入れる練習 13. 表現力を身に付ける（原稿を使った大きな表現の練習） 14. ナレーション原稿によるリポーター実習（原稿を2次元ではなく3次元で伝える） 15. フリーアナウンサー実習のまとめ 								
評価方法	平常点・授業の理解								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	ラジオパーソナリティーⅢ								
担当教員	三浦 由起子								
講師紹介	フリーアナウンサー／テレビ、ラジオ、イベント等でフリーアナウンサーとして活動。FMヨコハマ「ココロヒーリング」アシスタント、BeFM「ゆうらじ！ Hachinohe」パーソナリティー、企業の新商品・サービスのマスコミ向け発表会司会、各種式典・イベント司会・インタビューの他、社会人・企業向け研修等も行う。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔で分かりやすい話し方のポイントを理解し、普段の会話に取り入れる。 ・身の回りのことに興味を持ち、自分の視点で話すことに慣れる。 ・5分番組を制作する。 								
授業概要	<p>パーソナリティーは何をどんな風に話しているのか？番組内のコーナーごとに様々な要素がありますが、まずは簡潔で分かりやすい話し方を身に着け、身の回りのことに興味を持って素直に感じることです。前半は話し方の癖改善を重視しながらテーマに沿って実際にトーク、後半はこだわりを持って話題や曲を選び、それに対する想いや個人の意見を添える練習です。授業は実践が中心で、その場でフィードバックします。他者のトークとそれに対するフィードバックも自分事として吸収できるよう考える時間も取ります。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンスと自己紹介 2. 原稿に学ぶ簡潔で分かりやすい話し方5つのコツ 3. キーワードトーク 概要と実践・FB ① 4. キーワードトーク 実践・FB ② 5. お知らせ原稿読み 6. オープニングトーク 7. ニュース、天気予報 8. 曲紹介①イントロ 9. 曲紹介②曲終わりの振り返りコメント 10. 曲紹介③録音（※13回の場合は割愛） 11. 現在話題になっているものを3分で紹介① 12. 現在話題になっているものを3分で紹介② 13. 現在話題になっているものを3分で紹介③ 14. 5分間の番組作り① 15. 5分間の番組作り② 								
評価方法	平常点(平常点は主体的な習得意欲、出席を含みます)・授業の理解 ・成果発表								
テキスト・参考書等	自作資料をその都度配布します								
備考	ストップウォッチを持参。 曲紹介と番組制作時には、自分で選んだ曲音源を用意(詳細は授業で指示します)								

科目名	ラジオパーソナリティⅣ								
担当教員	山蔭ヒーロ								
講師紹介	ラジオDJ・ナレーター／静岡朝日放送のレギュラー、その後、FM仙台やNACK5、j-waveでもパーソナリティ、テレビ埼玉やJ:COMなどバラエティ番組を担当し、スペイン坂で東京FMの夕方ワイド番組で活躍。株式会社ローカルドリームプロダクションを設立、現在に至る。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	より自分自身を知り「パーソナリティ力」を上げる								
授業概要	NEWS だけでなく新聞などのアナログなものからも深掘りできるようなトーク力や、曲を紹介する際ももっと理解した上でのイントロやアウトロの使い方を学ぶ。 インタビューもいろいろな切り口で見えてくる人間の色など。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主に自己紹介 2. ラジオの仕組みや番組構成 3. 番組で話す内容をつかむ 4. 実際にブースに入り、イントロ紹介① 5. 実際にブースに入り、イントロ紹介② 6. 実際にブースに入り、イントロ紹介③ 7. 現在起きている NEWS を5分でまとめる① 8. 現在起きている NEWS を5分でまとめる② 9. 現在起きている NEWS を5分でまとめる③ 10. テーブルを円にし、学生とディベート① 11. テーブルを円にし、学生とディベート② 12. テーブルを円にし、学生とディベート③ 13. ゲストスピーカー 14. 5分の番組作り① 15. 5分の番組作り② 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)・授業の理解・成果発表・より深く物事に対して考えることができるか								
テキスト・参考書等	必要に応じて配布								
備考	毎回、流せる音源とストップウォッチを準備								

科目名	読み語り I								
担当教員	西村 文江								
講師紹介	ナレーター・朗読講師／ラジオ関東交通情報、JFNショッピングアナウンサー、車内アナウンス等多数担当。朗読研究会にて公演活動実施。日本女性放送者懇談会会員。担当教員は朗読分野で数多くの実務経験を重ねた経験を活かし指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	想いを伝える読み方、基礎を身に付ける								
授業概要	表現する以前に、「読解」…書かれている内容をよく理解し、感じ、イメージをしっかり持つことが大切です。そのためにも、前期は基礎の復習をしながら様々なジャンル(小説・詩・エッセイ・童話・民話・コラム・手紙文・時代物・古典など)の作品に取り組んで理解を深めていき、ただ字を言葉を綺麗に読むのではなく、人に伝える・伝わる読みを学んでいきましょう。後期には、自ら作品を選び発表に挑戦してみましよう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、自己紹介 2. 名作に触れる(冒頭を読む) 3. 短いコラムを読む 4. 民話を読む 5. 詩を読む 6. エッセイを読む 7. 童話を読む 8. 新聞のコラムを読む 9. 掌編を読む 10. 古典を読む 11. 手紙文を読む 12. 短編を読む① 13. 短編を読む② 14. 授業のまとめ① 15. 授業のまとめ② 								
評価方法	平常点・授業の理解・成果発表								
テキスト・参考書等	各ジャンルのプリントを配布します								
備考									

科目名	読み語りⅡ								
担当教員	西村 文江								
講師紹介	ナレーター・朗読講師／ラジオ関東交通情報、JFNショッピングアナウンサー、車内アナウンス等多数担当。朗読研究会にて公演活動実施。日本女性放送者懇談会会員。担当教員は朗読分野で数多くの実務経験を重ねた経験を活かし指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	自分で作品を選び、発表会まで根気強く取り組み作品を仕上げていく力を身に付ける								
授業概要	前期は講師が用意した様々なジャンル(小説・詩・童話・民話・手紙文・コラム・古典等)を読みましたが、後期はそれを踏まえて、生徒自らが作品を選び、1月のミニ発表会に向けて集中して取り組む。作品選びは重要で、自分が好きなもの(その理由)、難しいが挑戦してみたい、ぜひみんなに聞いてもらいたい等の目的をはっきり持つ。何度も読むことにより理解を深め、心の財産となるよう仕上げていきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作品選び① 2. 作品選び② 3. 作品選び③ 4. 読解① / 基礎の確認をしつつ、前期の復習 5. 読解② / ひとつの作品に根気よく取り組む 6. 読解④ 7. 読解⑤ 8. 読解⑥ 9. 読解⑦ 10. 読解⑧ 11. 読解⑨ 12. 読解⑩ 13. 発表会リハーサル 14. 発表会(録音) 15. 発表会の振り返り 								
評価方法	平常点・授業の理解・成果発表								
テキスト・参考書等	課題作品								
備考	インターネットで作品を探してもよいが、必ず原本を手にとってみましょう								

科目名	ヴォイスサンプル制作 I								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあたっている。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	1.オーディションで使用するためのヴォイスサンプルを完成させる 2.スタジオ、マイク前でしゃべることに慣れる 3.自分の声のポテンシャルを知る								
授業概要	マイクを通した自分の声を知りながら、しゃべりの癖を知り、ベストな状態に修正する。ベストなサンプルを編集し作品に仕上げる。 毎回、各自用意したものにアドバイスしながら、ベストなサンプルを収録していく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / 様々なヴォイスサンプルを聴く 2. 自己PRなどの収録1 3. 自己PRなどの収録2 4. 「課題」天気・ニュース・ナレーションなどの収録1 5. 「課題」天気・ニュース・ナレーションなどの収録2 6. 各自が準備した素材の収録1 7. 各自が準備した素材の収録2 8. 各自が準備した素材の収録3 9. 各自が準備した素材の収録4 10. 各自が準備した素材の収録5 11. 各自が準備した素材の収録6 12. 作品制作のための編集1 13. 作品制作のための編集2 14. 作品制作のための編集3 15. 各自の作品の聴取、まとめ 								
評価方法	出席率 / 作品の評価など								
テキスト・参考書等	ナレーション原稿								
備考									

科目名	卒業制作								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあたっている。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	通年
到達目標	1.スタッフワーク、チームワークの大切さを知る 2.キャストとしてカメラの前でのパフォーマンスを経験する 3.企画力・自主性を身に付ける								
授業概要	2年間を通して学んだ全ての事を駆使して一つの作品を作り上げます。作品はラジオ番組・テレビ番組・プロモーションビデオなど…どんなものでも構いません。企画～打合せ～構成～台本作り～制作までを生徒自身の手で作ります。しゃべる事だけでなくスタッフワークも身につけよう。								
授業計画	1. ガイダンス 2. 過去の作品鑑賞 3. 企画会議① 4. 企画会議② 5. 企画会議③ 6. 撮影・収録① 7. 撮影・収録② 8. 撮影・収録③ 9. 撮影・収録④ 10. 撮影・収録⑤ 11. 編集① 12. 編集② 13. 編集③ 14. 編集④ 15. 完成作品鑑賞								
評価方法	出席/制作への取り組み								
テキスト・参考書等	とくになし								
備考									

科目名	フリートークⅡ								
担当教員	宮川 賢								
講師紹介	ラジオパーソナリティ・演出家・劇作家・放送作家／TBSラジオ「宮川賢のデートの時間でそ?!」他冠番組多数。劇団ビタミン大使「ABC」主宰。(有)浜岡取締役社長。担当教員はパーソナリティーとして数々の番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	ラジオでのフリートークを自信をもって臨める姿勢づくり。とくに一人しゃべりでのフリートークを展開できる技術を培う。								
授業概要	ラジオに限らず自分のことをしゃべって、場を盛り上げることは、TVのパラエティ番組、イベント、ネット放送や司会などすべての表現において有用です。その中で、観客がいない、アシスタントの返事や合いの手もない、なのに時間が定められた条件のもと、一人しゃべりを堂々とできるようになるのは素喋りで人前に入るにあたり、最もハードルの高いものです。ぜひ挑戦して、どこでも何千人の前でも堂々と話せる表現者になってもらいたいです。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容紹介・自己紹介フリートーク 2. 自分の親や知人のコミカルエピソード 3. 時事ネタを含めてのフリートーク展開① 4. 時事ネタを含めてのフリートーク展開② 5. 時事ネタを含めてのフリートーク展開③ 6. 表現での「演技」を意識する① 7. 表現での「演技」を意識する② 8. 表現での「演技」を意識する③ 9. 時節ネタと自分の近況フリートーク① 10. 時節ネタと自分の近況フリートーク② 11. 時節ネタと自分の近況フリートーク③ 12. トークテーマを知ってから2分後にトーク① 13. トークテーマを知ってから2分後にトーク② 14. トークテーマを知ってから2分後にトーク③ 15. トークテーマを知ってから2分後にトーク④ 								
評価方法	平常点・授業の理解・成果発表(毎回スタジオで録音するフリートークを重視)								
テキスト・参考書等	プリント等は必要に応じて配布								
備考	しゃべる授業なのでお茶か水の持ち込みは自由。調べものをするためスマホや電子辞書の持ち込みも自由。								

科目名	ヴォイスサンプル制作Ⅱ								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあっている。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	1.オーディションで使用するためのヴォイスサンプルを完成させる 2.スタジオ、マイク前でしゃべることに慣れる 3.自分の声のポテンシャルを知る								
授業概要	マイクを通した自分の声を知りながら、しゃべりの癖を知り、ベストな状態に修正する。ヴォイスサンプル制作Ⅰよりもクオリティの高いサンプルを編集し作品に仕上げる。 毎回、各自用意したものにアドバイスしながら、ベストなサンプルを収録していく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 各自が準備した素材の収録1 3. 各自が準備した素材の収録2 4. 各自が準備した素材の収録3 5. 各自が準備した素材の収録4 6. 各自が準備した素材の収録5 7. 各自が準備した素材の収録6 8. 各自が準備した素材の収録7 9. 各自が準備した素材の収録8 10. 各自が準備した素材の収録9 11. 各自が準備した素材の収録10 12. 作品制作のための編集1 13. 作品制作のための編集2 14. 作品制作のための編集3 15. 各自の作品の聴取、まとめ 								
評価方法	平常点								
テキスト・参考書等	ナレーション原稿								
備考	とくになし								

科目名	スタジオナレーション実習								
担当教員	土屋 きみ								
講師紹介	フリーパーソナリティー・日本語講師／79年NHK甲府放送局入局。数々の取材・番組制作およびDJ担当。フリー後もドキュメント番組制作およびナレーション等を担当。担当教員はパーソナリティーとして数々の番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	映像にナレーションを入れる作業をマイク前で実践する。番組テーマを理解し、ナレーターとして何を求められているかを理解し表現する。映像に声を吹き込んでいく楽しさ・達成感を体現する。 また、ニュース原稿・天気予報の原稿読みも体現する。								
授業概要	ナレーションの需要は、情報告知・解説補足などに留まらず、バラエティ番組やスポーツ番組においてのその役割は大きい。そのためナレーターの表現力が適材適所に求められている。本講座ではナレーターに何が求められ、どのように表現するのか、その手法を毎回マイク前で体現する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要説明 2. 映像にナレーションを入れていく作業について解説・マイク前に立つということ 3. 教材 1 バラエティ編 何を求められているかを理解しナレーションする 4. 教材 1 バラエティ編 台本原稿を伝える能力・収録 5. 教材 2－1 ニュース・天気予報編 何を求められているのかの理解 6. 教材 2－1 ニュース・天気予報編 聴かせ続ける技術・収録 7. 教材 2－2 ドキュメント編 何を求められているのかの理解 8. 教材 2－2 ドキュメント編 映像の補足・情報の解説・収録 9. 教材 3 スポーツ編 何を求められているのかの理解 10. 教材 3 スポーツ編 聞きやすいテンポ・専門用語の解説・収録 11. 教材 4－1 映画告知編 何を求められているのかの理解 12. 教材 4－1 映画告知編 短い言葉の表現・収録 13. 教材 4－2 映画告知編 何を求められているのかの理解 14. 教材 4－2 映画告知編 言葉を残す(耳に残る)表現・収録 15. まとめと評価(今後の課題) 								
評価方法	毎回のマイク前での各自のナレーションで評価/授業の出席率								
テキスト・参考書等	VTR素材 使用楽曲/ナレーション原稿配布(バラエティ、ドキュメント、スポーツ、映画告知、ニュース、天気予								
備考	ナレーション原稿を事前配布。各自声に出して読みこみ、マイク前に臨んでください。その中で、マイク前に立つこと、声を仕事にすることを一緒に考えましょう。映像に声を吹き込み完成していく達成感を知って欲しいで								

科目名	CM実習								
担当教員	赤津 弘子								
講師紹介	ヴォイストレーナー・フリーアナウンサー／日本大学芸術学部卒。愛媛放送アナウンサーを経てフリーに転身。ヴォイストレーナーとして独自のメソッドを確立。担当教員はヴォイストレーナーとして数多くの俳優・タレント・アナウンサーを育成した実績を有する。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	CMの使命・役割を理解する。スポンサー企業・商品の魅力について自らリサーチし理解を深める力を養う。自分の言葉として伝えることができる。								
授業概要	身近な15秒・30秒のCM素材に触れながら、その企業や商品について理解を深め、企業の代表として商品の魅力を「自分の言葉で伝えられる」ことを目的としています。 ※また今後ヴォイスサンプルを作成することを想定して、スタジオ録音に臨んでいます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業のガイダンス&自己紹介 2. CMの役割&伝えるとは？ 3. おススメ商品を紹介 4. 15秒CM演習① 5. 15秒CM演習② 6. 録音&フィードバック(素読み、BGM付) 7. 30秒CM演習① 8. 30秒CM演習② 9. 30秒CM演習③ 10. 録音&フィードバック 11. 各自selectCM演習① 12. 各自selectCM演習② 13. 各自selectCM演習③ 14. 録音&フィードバック 15. 振り返り&まとめ 								
評価方法	授業の出席率/実習の成果/事前事後の学習成果								
テキスト・参考書等	CM素材(原稿)を配布/各自selectの原稿提出								
備考	特になし								

科目名	ビジネスマナー								
担当教員	藤田 理恵								
講師紹介	ビジネスマナー講師/NHK横浜放送局でレポーター、その後、科学博協会において政府代表秘書を勤め、その間外務省儀典室へ出向し、VIP接遇、プロトコルを学び、筑波科学博、横浜博では、VIP担当を勤めた。現在は、社員教育の講師を勤める。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	学生として必要なビジネスマナーを学び、就活・オーディション・アルバイト等に活用する。								
授業概要	ビジネスマナーは、社会人になってから新入社員研修で学ぶ事と思われがちですが、学生時代から知り、実践する事により、人間力を高めることができます。「今の若いヤツは・・・」と言わせないように、ビジネスマナーを身につけて、気遣いのできる人として、社会から認められ、良い仕事につなげる事ができるようにして下さい。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、カリキュラムの説明 2. 学生と社会人の違い(マインドチェンジ)、エゴグラムテスト 3. ビジネスマナーの5原則 第一印象の演出(挨拶等) 4. ビジネスゲーム(コンセンサスゲーム) 意見を主張する・受け入れる 5. 社会人としての言葉づかい 敬語・クッション言葉・ビジネス用語 6. ビジネス電話対応① 学生として失礼のない電話対応 7. ビジネス電話対応② ロールプレイング 8. 訪問のマナー① 受付での挨拶・席順・名刺交換 9. 訪問のマナー② ロールプレイング 10. 冠婚葬祭の常識① お祝い事、年中行事 11. 冠婚葬祭の常識② 結婚式のマナー・葬儀のマナー 12. テーブルマナー DVD 洋食・和食・パーティー 13. ビジネス文書 メールマナー・宛名の書き方 14. 贈答のマナー 社会人としての礼儀 15. 筆記テスト 								
評価方法	授業の出席率/筆記テスト								
テキスト・参考書等	毎回プリントを配布								
備考	授業中の私語は控えること。								

科目名	アナウンス応用 I								
担当教員	萬谷 宜子								
講師紹介	フリーアナウンサー・フリーパーソナリティー／元静岡FM放送アナウンサー。フリー後、FM世田谷他で活躍。近年はRFR「健康情報番組」、ROKでIKKOさんと共演。担当教員はフリーアナウンサー・リポーターとして数々の番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	1年生で学んだ基礎を身体に覚えさせ更に深めていく。滑舌に取り組み始め、50音の半分までいく予定。原稿を読む、フリーで話す…これらのノウハウをしっかりと吸収していく。								
授業概要	アナウンス基礎を終え、授業はまさに「応用」です。講義というよりは実習・実践が多くなります。実習内容は多岐に渡ります。イベントMC・インタビュー・フリートーク・リポート・ニュース・天気予報・交通情報・ショッピングキャスター・ウェディングMCなどです。そしてやはり基礎は重要です。1年生の時にカバーしきれなかった滑舌練習を基礎分野では重点的に取り組みます。また、新しい試みとして時事問題のテストを定期的実施予定です。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス・自己PR収録 2. 自己PRチェック、アドバイス 3. 発声練習 フリートーク「GWについて」 4. 発声滑舌①基礎確認 5. イベントMC原稿読み 6. インタビュー実習① 7. インタビュー実習② 8. 発声滑舌②基礎確認 9. ニュース実習① 10. ニュース実習② 11. お天気リポート 12. 実技テスト① 13. 実技テスト② 14. 実技テスト③ 15. まとめ 								
評価方法	平常点・試験・課題レポート								
テキスト・参考書等	アナウンスハンドブック								
備考									

科目名	アナウンス応用Ⅱ									
担当教員	萬谷 宜子									
講師紹介	フリーアナウンサー・フリーパーソナリティー／元静岡FM放送アナウンサー。フリー後、FM世田谷他で活躍。近年はRFR「健康情報番組」、ROKでIKKOさんと共演。担当教員はフリーアナウンサー・リポーターとして数々の番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。									
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期	
到達目標	前期から取り組んでいる滑舌表プリントを最後まで(50音ワ行)仕上げ、口の中の矯正を終了する。ウェディングMCやフリートーク、原稿読みなど応用を進めていく。									
授業概要	基礎の重要な部分がまだ未完成なので、毎時間滑舌を中心に発声練習に取り組みます。実際に声を出させ未熟な部分をアドバイスして、滑舌では口の中の癖を取り除いていきます。いよいよ2年生の最終段階に入るので、卒業後に即役に立つ実践・実習を軸に授業を行っていきます。その一つが結婚式の司会です。結婚式について細かく解説し、言葉の言いまわし、台本の作り方を講義します。最終的には自分自身が将来役立てられる「ベース台本」を完成させます。その他、ニュースの読み方・フリートークの組み立て方、交通情報などを、一人一人アドバイスしていきます。									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容ガイダンス・夏休みフリートーク 2. 夏休み宿題一時事問題テスト 3. 発声・滑舌練習 ウェディング夏休み宿題プリントチェック 4. 発声・滑舌練習 ウェディングMC 第1部 5. 発声・滑舌練習 ウェディングMC 第2部 6. 発声・滑舌練習 アナウンス発表会リハ 7. 発声・滑舌練習 ウェディングMC 第3部 8. 発声・滑舌練習 NEWS実習 9. 発声・滑舌練習 NEWS実習 10. 発声・滑舌練習 ウェディングMC 台本作り 11. 発声・滑舌練習 交通情報 実習 12. 発声・滑舌練習 フリートーク実習 13. 実技テスト 14. 筆記テスト 15. 授業の振り返り 									
評価方法	平常点・試験・課題レポート									
テキスト・参考書等	アナウンスハンドブック・アクセント辞典									
備考	電子辞書も可									

科目名	放送業界講座Ⅱ								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあっている。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	54時間	開講時期	通年
到達目標	1.業界の「今」を知り、知識を深める 2.様々な職種のゲストの講義・実習を通して視野を広げる 3.エンターテイメントの現場に生で触れ感性を磨く								
授業概要	現場の方々に業界の話を聞いてみよう アナウンサー、ナレーター、ラジオDJなど現場の方を招いての特別講座です。普段聞くことのできない現場のリアルな話を聞き知識を深めます。授業はゲスト現場体験を学生らの質問を交えて話を進めます。時には読みの実習も行います。								
授業計画	1. ガイダンス 2. ラジオ関連分野ゲスト① 3. ラジオ関連分野ゲスト② 4. ラジオ関連分野ゲスト③ 5. ナレーション関連分野ゲスト① 6. ナレーション関連分野ゲスト② 7. ナレーション関連分野ゲスト③ 8. アナウンサー関連分野ゲスト① 9. アナウンサー関連分野ゲスト② 10. アナウンサー関連分野ゲスト③ 11. 事務所所属の卒業生ゲスト① 12. 事務所所属の卒業生ゲスト② 13. 事務所所属の卒業生ゲスト③ 14. まとめ① 15. まとめ②								
評価方法	出席状況、授業への積極性 / レポート提出状況								
テキスト・参考書等	ゲストにより異なる								
備考	ゲストのスケジュールにより授業計画は変更の可能性あり								

科目名	就職・オーディション講座Ⅱ								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあたっている。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	1.自分が納得のいく進路を決定するため自ら活動できるようになる 2.卒業生ゲストの講義を通して進路の選択肢の視野を広げる 3.就職・デビュー活動ができるよう履歴書・プロフィール用紙を完成させる								
授業概要	就職対策・オーディション対策の両方を学ぼう。就職対策では、就職活動ではどのようなことが大切なのか、履歴書の書き方や筆記試験・面接でのポイントを学びます。オーディション対策では、プロダクション関係者や現役のナレーター・アナウンサーなどのゲスト講師による講義も取り入れます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要説明、ガイダンス / 進路希望聞き取り 2. 自己PR、オーディションとは 3. 業界関係者による / オーディション対策講座 4. ヴォイスサンプル計画表作成 5. 卒業生ゲストトーク①(学生時代の過ごし方・オーディションで気を付けていること・所属後の話 など) 6. 卒業生トーク②(同上) 7. SNSの活用について(デビュー活動編・就職活動編) 8. 業界ゲストトーク(講義orレッスン) 9. 業界ゲストトーク(講義orレッスン) 10. 就職活動対策① 11. 就職活動対策② 12. 就職活動対策③ 13. 就職活動対策④ 14. 社会人になる前に意識したいこと / 目標計画表作成 15. 全体のまとめ 								
評価方法	平常点・授業の理解								
テキスト・参考書等	授業プリント								
備考	ゲストのスケジュールにより授業計画は変更の可能性あり								

科目名	就職・オーディション講座Ⅲ								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあっている。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	自分自身が納得のいく進路決定をする								
授業概要	就職・オーディション講座Ⅰ・Ⅱで学んだことを活用しながら、各自が希望の進路に進めるよう個別サポートを行う。早くに進路決定した学生には、事務所用のヴォイスサンプル制作など、卒業後に向けての指導を行う。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 個人面談① 3. 個人面談② 4. アサーティブコミュニケーション① 5. アサーティブコミュニケーション② 6. 事務所・フリーランスで仕事をするためのお金の教養講座① 7. 事務所・フリーランスで仕事をするためのお金の教養講座② <p>個人面談後に1人1人に合ったデビュー・就職サポートを個別で実施する。 (自己PR映像収録、ヴォイスサンプル収録、模擬面接等)</p>								
評価方法	平常点・授業の理解								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	特になし								

科目名	学園行事Ⅱ								
担当教員	船場吉行(他、教員が担当)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学園行事を通じて様々なイベントを体験することで協調性とコミュニケーション能力が高まる ・一定のルールの下で行動することで、自身がクラスやグループの一員であることを自覚し、社会性が身につく。 								
授業概要	<p>学生が2年間で体験する学園生活の中で、起点となるイベントは卒業後振り返ってみても実に思い出深いものになることが多い。本校の学園行事は日頃の専門教育から離れて学科間を越え、時には学校間を越えて、ひとつのことを共に経験する過程で得る、貴重な体験を積んでほしい。通り一遍の参加ではなく、積極的な取り組みを願う。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス合宿① 2. クラス合宿② 3. 東放学園大運動会 4. スポーツ大会 5. 学園祭① 6. 学園祭② 								
評価方法	イベント毎に参加した際の平常点を総合して判断								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	現地集合のイベントの場合は交通事情をよく調べてから行動を起こすこと								

科目名	芸術鑑賞Ⅱ								
担当教員	船場吉行他(クラスアドバイザー、教員)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメントの華やかなパフォーマンスに刺激を受け授業の糧にする。 ・実際の舞台上で演じる役者のセリフや動き見て、授業等の課題について考えることができる。 ・進路先選びの参考になる 								
授業概要	<p>専門分野の知識・見識を高めるためにプロのパフォーマンスを鑑賞することは重要なことである。芸術鑑賞は該当する学科が学年に応じてテーマを持ち、将来進むエンターテインメント業界の仕事を垣間見る機会をつくる。世間の誰もが知る劇団や評判の高いプロデュース公演、大小様々劇場や美術、場内アナウンスに至るまですべてを吸収して刺激を受けよう。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鑑賞作品(1)タイトル未定/作品については劇団、主催等が提案する年次の公演一覧から担当者目的に応じて、作品のテーマ・演出家・出演者等から選ぶ 2. 鑑賞作品(2)タイトル未定/上記に同じ 3. 鑑賞作品(3)タイトル未定/上記に同じ 4. 鑑賞作品(4)タイトル未定/上記に同じ 								
評価方法	参加当日の平常点と鑑賞後のレポートを重視								
テキスト・参考書等	レポート用紙(個人で用意)								
備考	観劇中のマナーは要注意								

科目名	アナウンス発表Ⅱ								
担当教員	疋田 ひとみ・下田 孝祐・吉田 浩一								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。学校卒業後、コンサート制作や照明の現場で勤務してから東放学園教職員に就任。現在は担当学科の他、学内イベント等を通じて学生の指導にあっている。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	1.発表を通して、現在の自分のアナウンス技術、パフォーマンスレベルを知る 2.厳しい目で評価されることで、日々の練習の大切さを理解する								
授業概要	プロのアナウンサー、ナレーター、ラジオDJや、プロダクション関係者の前でステージに立ち、自己PRと自由発表を行う。 発表会までに各自プロフィール用紙、使用する音源、キューシートを準備する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. アナウンス発表会概要について説明 2. プロフィール用紙の書き方を学ぶ / プロフィール写真選びをする 3. 発表内容の構成を考え、練習する 4. 音素材、キューシートの準備 5. アナウンス発表会 6. 審査用紙返却 / 当日の映像を見ながらフィードバック① 7. 当日の映像を見ながらフィードバック② 								
評価方法	当日のゲスト審査員による採点								
テキスト・参考書等	とくになし								
備考									

科目名	セルフプロモーション								
担当教員	青木 裕之								
講師紹介	プロデューサー／ウッチャンナンチャンのマネージャーを経てワタナベエンターテインメント入社。統括チーフプロデューサー歴任。07年(株)Dig-est設立(代表取締役)。担当教員は長年業界に携わり多くの新人を輩出。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	オーディションに対する準備や心構えを理解する。人前に立って話をするときの表情の使い方を知る。								
授業概要	セルフプロデュース力を鍛えることは学生にとって進路を考える上でとても大切なことです。人前に立った時に自分自身をアピールするチャンスはいつやって来るかわかりません。「自分の声は?」「表情は?」「質問されたときのリアクションや、オーディション用紙の準備は?」正しい答えはありません。みなさんの中にある答えをアドバイスします。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. セルフプロモーションを受講するにあたってその心構え、モチベーション等 2. オーディション用紙の書き方、直し 3. 地声の出し方 自分の名前の発声の仕方 呼吸法① 4. 地声の出し方 自分の名前の発声の仕方 呼吸法② 5. 表情筋の鍛え方① 6. 表情筋の鍛え方② 7. 言葉と表現 色々な感情の出し方① リアクション、言葉遊び 8. 言葉と表現 色々な感情の出し方② リアクション、言葉遊び 9. 言葉と表現 色々な感情の出し方③ リアクション、言葉遊び 10. 言葉と表現 色々な感情の出し方④ リアクション、言葉遊び 11. 中間地点フィードバック 12. セルフプロモーション実践① 自己PR発表 13. セルフプロモーション実践② 自己PR発表 14. セルフプロモーション実践③ 自己PR発表 15. 今期の振り返り フリートーク 今後の話 								
評価方法	平常点/セルフプロモーション実践時の発表								
テキスト・参考書等	オーディション用紙(所定)								
備考	恥ずかしがらないで前に出てきましょう								

科目名	フォトポートレート								
担当教員	西原 敏弘								
講師紹介	カメラマン／スタジオアシスタントを経てフリーとなる。雑誌・PR誌等にて人物撮影を中心に活動。スポーツ関係誌のインタビュー企画ページにて著名人の撮影を担当。担当教員はカメラマンとして多くの撮影作を担当している。本講座はこの実務経験を活かし指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	オーディション写真を撮る際にオーディション選考されるようなポートレートを撮影。								
授業概要	オーディション写真をきちんと撮られるような意識を持ち、将来の自分自身の姿をカメラ前で表現させる。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. カメラ撮影テスト(きちんとカメラ前に立つ) 3. 自分自身で顔・容姿を知る① (右・左・正面から撮影) 4. 自分自身で顔・容姿を知る② (右・左・正面から撮影) 5. 自分自身で顔・容姿を知る③ (右・左・正面から撮影) 6. 自分自身で自分に合った角度を撮る① 7. 自分自身で自分に合った角度を撮る② 8. 目線と口元の表現① 9. 目線と口元の表現② 10. 服装の色・形を合わせる① 11. 髪型のチェック① 12. オーディション写真を撮る① 13. オーディション写真を撮る② 14. オーディション写真を撮る③ 15. まとめ 								
評価方法	授業に取り組む姿勢								
テキスト・参考書等									
備考	毎週撮影(バストアップ・全身)し、翌週にプリント返却。データとしてCDを渡しますので、半期で実費(5000円)程度が要ります。								

科目名	オーディション実習								
担当教員	堀口 博史								
講師紹介	プロダクション代表／タレントマネージャーとして30年以上の実績。300名以上のタレントを育成した経験を活かし、新人タレントのデビューに向けてノウハウを指導する。担当教員は長年業界に携わり多くの新人を輩出。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	オーディションをどのように受ければ良いか、合格への確率を高める。								
授業概要	今は、事務所に入るにも、仕事を取るにも何らかのセレクション(オーディション)を受けます。オーディションを通るには、全体的な方向性よりは、個々のキャラクターによります。その個々により、合格への確率を高める学習カリキュラムになっています。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス 2. 自己紹介 3. 自己PR 4. 業界説明 5. 原稿を使用したオーディション① 6. 原稿を使用したオーディション② 7. フリートーク① 8. フリートーク② 9. 演技オーディション① 10. 演技オーディション② 11. カメラワーク① 12. カメラワーク② 13. カメラワーク③ 14. プロダクションとは 15. 総論 								
評価方法	授業内容により								
テキスト・参考書等	特になし※必要な場合は用意します								
備考	特にありませんが、都度お知らせします。								

科目名	オーディション実習								
担当教員	柳澤 孝則								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。地元の大学を卒業後、アイドル、俳優、タレント、モデルの芸能マネージャーとして5年程勤務。その後、学校法人東放学園に入社。現在は担当学科と進路に関する業務に携わる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	自分自身を客観的に理解し、自身を表現できるプロフィール用紙、自己PRを作成しオーディションに対する意識を身に付ける。								
授業概要	プロフィール用紙の書き方や自己PRなどオーディションに向けてのサポートを行います。自身を表現できるPRの完成をサポートできるよう、コミュニケーションをとりながらアドバイスを送ります。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 自己紹介・進路調査 3. プロフィール用紙の書き方① 4. プロフィール用紙の書き方② 5. 自己PR① 6. 自己PR② 7. 業界講座 8. ビジネスマナー・メール講座 9. 自己PR③ 10. 質疑応答① 11. 質疑応答② 12. 模擬オーディション① 13. 模擬オーディション② 14. 模擬オーディション③ 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	授業の特性上、不要								
備考	特にありませんが、必要な場合は都度お知らせします。								

科目名	就職対策演習									
担当教員	張 沁									
講師紹介	東京アナウンス学院教員。中国上海出身。2011年来日。大学では日本文学と日本語教育を専攻。日本での留学と就職活動の経験を活かし、学生の就職支援活動等を行う。									
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	前期/後期	
到達目標	「自己選択・自己決定」「プレゼン能力の向上」を目標とします。会社について自分で調べ、比較できるようにするとともに、履歴書等の書類や面接で自分を効果的にPRできるよう、授業を進めていきます。									
授業概要	<p>「就職」というとデビューとは無関係に思われがちですが、本講座では「就社」だけではなく進路を決めるときに必要な意識やスキルについて学びます。それに加え、一般的なマナーや知識、最新の求人情報なども随時紹介していきます。「会社の事を知り、自分を把握すること」がテーマです。授業では物事の答えを直接的に教えるのではなく、「考え方」「調べ方」「書き方」のような方法論を展開し、実践してもらいます。</p> <p>また本授業内にて学内企業説明会を実施予定なので、就職を考えている方には実践的な内容となります。</p>									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(授業の進め方、内容紹介、評価の仕方、自己紹介) 2. 働く意義、職業観と仕事観、会社側の人材観について考える 3. 生活シミュレーション(生活にはいくらかかるか) & 就職活動の流れを解説 4. 業界研究・職種研究、求人の探し方・選び方について 5. 自己分析の意義・仕方 自己分析ワークシート実践 6. 志望動機・自己PRの書き方 7. 履歴書/オーディション用紙の作成 ⇒次週までに提出 8. 履歴書/オーディション用紙返却・講評 & 会社へのアプローチ法1(手紙・送付状マナー解説) 9. 会社へのアプローチ法2(電話、メールのマナー解説) 10. 筆記試験対策1(SPI、一般常識試験等) 11. 筆記試験対策2(論作文) ⇒小論文を作成、提出し、次回添削・講評 12. 面接対策1(面接の種類と特徴紹介) 13. 面接対策2(映像視聴・よく出る質問) 14. ビジネスマナーについて(訪問、来客対応、席次、服装等) 15. 全体のまとめ、就職相談会 									
評価方法	1. 出席、意欲等の平常点 2. 提出課題 3. 理解度/習熟度									
テキスト・参考書等	オリジナルの資料、映像素材、実際の求人票									
備考	<p>・デビュー希望の学生も歓迎します。</p> <p>・授業進度と就活時期の関係から「就職・就社」を希望している学生は2年生の前期までに受講することを勧め</p>									